



# 駒澤会だより

第9号

(2008年1月1日)

駒澤大学駒澤会発行

～ 駒澤大学は開校 125 周年を迎えました ～

## CONTENTS

- P1 会長の言葉、行事予定
- P2 基金管理委員会からの  
お知らせ  
会員紹介
- P3 教育後援会との懇親会報告
- P4 秋の一泊研修会報告
- P5 ホームカミングデー取材
- P6 忘年会報告
- P7 ボクシング部
- P8 事務局より・編集後記

## 行事予定

- 1月12日(土) 教育後援会新年賀詞  
交歓会、2次会
- 1月26日(土) 第4回役員会  
厚生部部会  
広報部部会(新年会)
- 3月25日(火) 修了・卒業式
- 4月2日(火) 入学式
- 5月10日(土) 教育後援会定期総会
- 5月17日(土) 駒澤会委員総会



会長挨拶

駒澤会会長 磯田 昭



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、新たな希望と感慨をもって、新年を迎えられたことと拝察いたします。

旧年中は会員の皆様が、熱意をもって駒澤会運営に参加され、順調に推移致しましたことを、心より御礼申し上げます。

永年の課題である会員の確保の一環として、皆様方もお子様が現役時ご尽力いただいた教育後援会の皆様方と、懇親会を開き、交流を深めることができました。

本年度は、7月28日(土)に渋谷の天厨菜館で開きました。コクのある北京料理と楽しい会話が、豊かさを盛り上げました。その席に、学校関係者にも参加いただき、本会の活動をご理解いただくよう努めましたことは、大きな成果だと思っています。年1回ではありますが、意義深いことでした。

更には、9月29・30日に箱根湯本で行った本会の一泊研修会にも、教育後援会の会長・副会長さんもお参加いただき、本会への更なるご理解をいただけたと確信いたしています。

平成19年10月15日で、駒澤大学は開校125年という節目の年を迎えました。百年を超え、更に四半世紀という成熟のページに、駒澤会も一翼を担っている訳であり、慶賀に堪えないこととございます。その駒澤会も、はや結成35年が過ぎました。そうした中で、本年度初めての企画として、11月3日に行われたホームカミングデーに参加し、模擬店のおでん屋を出し、地域の皆様方にも喜んでいただきました。

このように駒澤会も、学内から、学校関係、周辺地域、各地に至るまで、その交流の輪を広げ、結成40周年に向けて、更なる発展が期待されています。

従って、本年も会員の皆様と益々絆を強め、駒澤会発展に力を尽くす所存であります。皆様のご支援、ご協力を切にお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様のご健勝を、心よりお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



コミュニティケアセンター (大学正門前)



## 教育後援会との懇親会 報告

平成 19 年 7 月 28 日(土) 渋谷 天厨菜館にて

副会長 井上 俊 夫



7月28日(土)、渋谷宮益坂 天厨菜館において、教育後援会役員の皆様と駒澤会役員・事務局の合計18名で懇親会が開かれました。駒澤会の目的である『駒澤大学の発展とその教育研究の向上に寄与し、大学、教育後援会及び同窓会と相互に提携協力する』事と教育後援会役員に当会の活動を理解して頂きたい、との思いから毎年開催されています。

当日は教育後援会から、高塚会長を始め6名の役員の方々にご出席を頂き、終始和やかな雰囲気の中で親睦を深める事が出来ました。両会の課題や問題、オータムフェスティバルでの協力なども話題に上り、有意義な時間であったと思います。

この懇親会が現在の課題の一つである会員数の増加に直接結び付く事は難しいかも知れませんが、これからも地道な活動を続けて、更に『魅力ある駒澤会』を目指して行きたいと思えます。

井上俊夫

## 秋の一泊研修会 報告

平成 19 年 9 月 29 日(土)～30 日(日) 箱根湯本 ホテルパークス吉野

厚生部副部長 田邊隆子



9月29日(土)～30日(日)駒澤会恒例の秋の一泊研修会が、「箱根パークス吉野」で行われました。朝から生憎の雨の中、現地集合・現地解散のため、皆さんが無事に到着されることを心待ちしておりましたが、午後4時半過ぎには28名全員が到着し安堵しました。

午後5時から大谷総長先生を講師にお迎えして、研修会が始まりました。テーマは「羅漢について」でした。「十六羅漢の様相」(平成19年5月発行、編著者・大谷哲夫)が、資料として皆さんに配られました。羅漢とはから始まり、十六羅漢の絵とその絵についての説明がされている本です。講義はこの本を教材として進められました。大谷先生の熱心な講義に、会員の皆さんも引き込まれ、時間の経過も忘れるほどでした。駒澤会らしい研修内容で、会員の皆さんにも大変好評でした。

続いて宴会場へ移動し、懇親会に入りました。厚生部の森屋部長が司会を務め、磯田会長、大谷先生、教育後援会の高塚会長からご挨拶をいただき、澤畑副会長の乾杯のご発声で、会食になりました。

駒澤会恒例となりました井上副会長のクイズは、箱根に関するものと駒澤大学や駒澤会に関するものでした。今回は部屋別対抗で行いましたが、大谷先生がパーフェクトに近い回答で優勝しました。そこから「サスガ！スゴイ！」と声が上がりました。

しかし、他のお部屋の正答率も高く、大谷先生とは僅差であったことをご報告しておきます。改めて駒澤会員の博学さに驚いています。

その後、ビンゴ等で楽しいひと時を過ごしたあと、赤堀副会長の閉会のご挨拶で、懇親会を終了しました。

続く二次会も殆どの方のご参加をいただき、懇親会とは又違った雰囲気の中で歓談され、親睦が深められたようでした。また、歌やダンスを披露してくださり、更に盛り上げてくださった皆さんに感謝申し上げます。最後に全員で青い山脈を歌ってお開きとなりました。

三次会では森屋部長の部屋に皆さんが集合され、大谷先生を囲んで楽しいひと時を過ごしました。大谷先生の貴重な？お話を耳を傾けていると、最後に思わぬ落ちがあり、居合わせた皆さんを煙に巻いてしまうような、そんな大谷先生のユーモアにあふれた一面を垣間見ることが出来て大変得した気分になりました。

翌朝、朝食後ロビーに集合し、記念撮影をしてから解散しました。

大谷先生をお見送りし、磯田会長をお見送りして、会員の殆どの皆さんをお見送りしたあと厚生部員は帰路につきました。(今年も盛況のうちに、研修会が無事に終了できたことをお互いに労いながら。)

最後に今回の企画に対し、ご協力いただきました駒澤会執行部・役員・事務局の唐澤さん、今回始めてご参加いただいた教育後援会の高塚会長、谷山副会長、そして、ご参加いただきました多くの会員の皆様にご挨拶申し上げます。至らない点多々あったかと思いますが、より一層頑張ってお参りますので、今後ともよろしくご挨拶申し上げます。



平成19年11月3日(土)

ホームカミングデー開催 駒澤会「おでんや」開く！！ (広報部取材)



高見静子



吉田祥子

本部等より正門方面



左から、中畑氏、太田前監督、萩本さん、勝俣さん

11月3日、4日、駒澤大学校内で賑やかに在校生、卒業生共に入り混じって楽しいお祭りが催されました。4回目となるこの会も年々盛んになり、19万人余りの卒業生を送っている大学の構内で駒澤会は「おでんや」を開店してその賑わいの一角を担いました。井上副会長作の大根始め卵、こんにゃくは大好評、会員の大活躍で12時には売り切れ御礼の張り紙がテント前を飾りました。売店以外にも、萩本欽一氏のトークショー(太田前監督、中畑氏、石毛氏、勝俣州和さん、の人生訓入りの楽しい語り)、マジックショー有り、ライブ有り、学生落語会有り、ギター演奏あり、とその他に陶芸部、美術部、茶道部、などの発表もありました。取材班は合間にお好み焼きをほおぼり落語を聞き、又、駒澤大学ならではの坐禅堂で行われた佐藤先生、飯塚先生ご指導の坐禅会に出席し、静かなひと時と策励の痛さを体験させていただきました。今年は卒業生の人数も多くあちこちで聞こえる再会を楽しむ声に、年々盛んになることの期待を感じる事が出来ました。

吉田・高見



大好評で早々に売り切れてしまいました。当日参加の方々、本当にご苦労様でした。



フリー  
マーケット  
7号館前

## 駒澤会忘年会 報告

11月24日(土) 18:00～ 銀座「日月火」



総務部長  
山田春雄

平成19年11月24日土曜日、午後六時より銀座プランタンから程近い「日月火」という展望の大変美しい店で忘年会を開催しました。超高級和食に舌鼓を打ちながら、一年の活動を振り返り、駒澤会会員相互の親睦を深める和やかな会が行われました。旬の味もさることながら、磯田会長はじめ出席者31名の盛大な忘年会になりました。

二次会におきましては、皆さんの熱唱が響きました。『♪もうすぐ春ですね、恋をしてみませんか』という歌には、どなたからか「もう無理でしょう」という声援が贈られました。『骨までとろける』という情熱的な曲にあわせ、踊りを披露される方々も見受けられました。皆様のロマンチックな歌声に酔いしれた一夜を過ごさせていただきました。

山田春雄



## ボクシング部 二部リーグ優勝、一部リーグ昇格！！

駒澤会会員、村野常夫氏がコーチとして活躍の場としている駒澤大学ボクシング部の今年の活躍は目覚ましいものがありました。第60回関東大学ボクシングリーグ戦二部リーグ優勝、一部リーグ昇格を果たしました。その活躍を祝って9月15日（土）深沢校舎にて祝賀会がありました。ボクシング部OBでプロボクシング元世界ライト級チャンピオンの中島成雄氏のチャンピオンベルトもお披露目され、宮本理事長、大谷総長もお祝いに駆けつけ、盛大な祝賀会となりました。

また、大活躍した清水聡さん（経営学部4年）は第62回国民体育大会（秋田わかずぎ国体）にて成年フェザー級、2007年世界選手権大会（アメリカ・シカゴ）にフェザー級日本代表として出場、第77回全日本アマチュアボクシング選手権大会（大分県津久見市）にてフェザー級優勝を果たしました。 高見静子



おめでとう！ →  
経営学部4年 清水聡さん



← 駒澤会  
村野常夫さん



## 事務局より

- 19年度 維持会費納入のお願い  
本年度維持会費(5,000円)未納の方は至急振込をお願い致します。  
振込用紙紛失の場合などは、事務局宛ご連絡下さい。  
TEL 03-3418-9189、FAX 03-3418-9190
- 新年賀詞交歓会 開催のお知らせ  
教育後援会主催の新年賀詞交歓会が次の通り開催されます。  
当日は、駒澤会の2次会もありますので、維持会員の皆様は奮って御参加ください。  
1月12日(土) 14:00 開会、グランドプリンスホテル赤坂(旧赤坂プリンスホテル)  
5階「ロイヤルホール」 電話 03-3234-1111(代)  
問い合わせ：教育後援会事務局(学生部) TEL 03-3418-9060
- 新学科設立  
平成20年4月より、経営学部新たに「市場戦略学科」が開設されることになりました。  
これにより、経営学部は、経営学科と市場戦略学科の二学科となります。

## 編集後記

木々は葉を落とし、空は澄んで「天高くメタボ気になる秋の空」といったところでしょうか。

10月15日に開校125周年を迎えた駒澤大学、11月3日(土)のオータムフェスティバルとホームカミングデーの同時開催は盛況でしたが、少子高齢化の縮図に思えました。若者より中高年が多く、人生50年といわれた時代から125年は生きられる時代へと変わりつつある現在の日本、我々は衣食住に恵まれた「豊かな実りの秋」を楽しんでいると言えるのかもしれませんが、しかし、物と情報が溢れ、何でもありの現在がいつまでも続くとも思えません。

かつて経験したことのない少子高齢化、ねじれ状態で先が見えない政治、一人ひとりがどう生きてゆくべきか、年の始めに2008年のあるべき日本の姿をゆっくり考えてみましょう。

広報部 吉田祥子

### 駒澤会 ホームページ

駒澤大学HPアドレス から  
www.komazawa-u.ac.jp



同窓生の方 ~ 駒澤会 を  
クリックしてください。

### 駒澤会だより 第9号

発行日：2008年1月1日  
発行者：駒澤大学駒澤会広報部  
154-8525 世田谷区駒沢1-23-1  
TEL：03-3418-9189  
FAX：03-3418-9190